

栗駒山周辺の地殻変動

Crustal Deformations around Kurikoma Volcano

国土地理院

Geographical Survey Institute

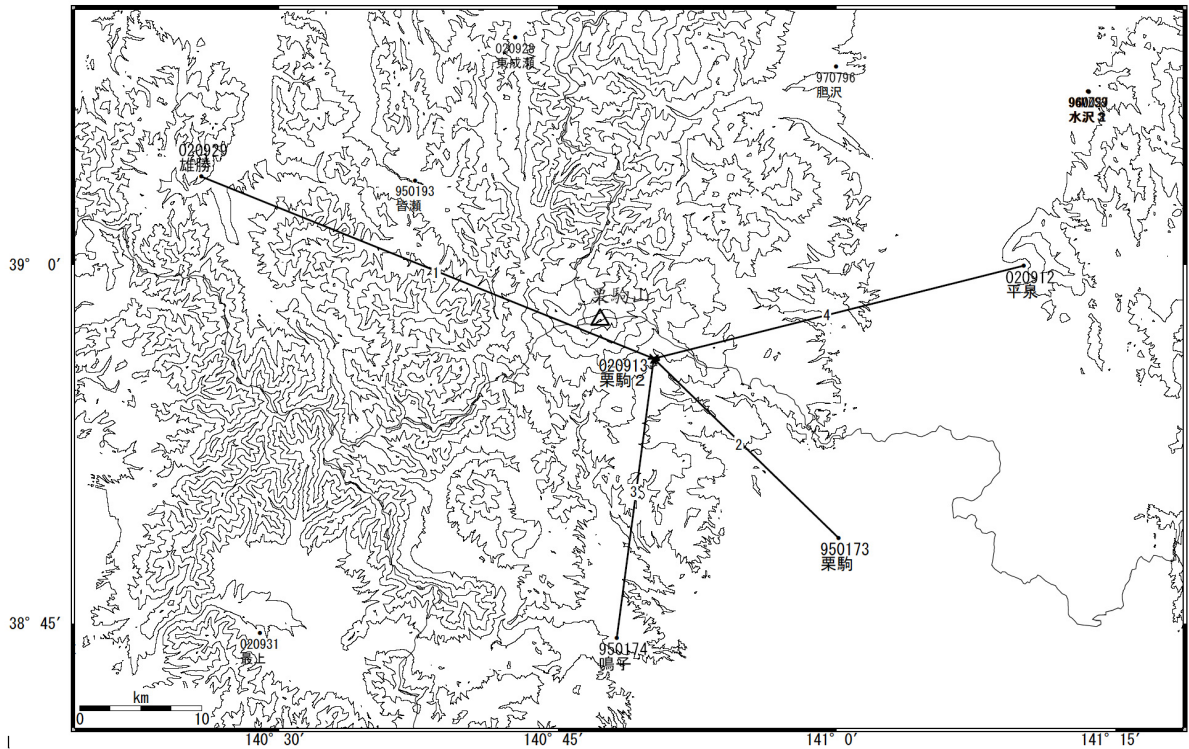
第1図は、2003年4月～2008年1月における栗駒山周辺のGPS連続観測結果である。第1図より「栗駒2」観測点、2004～2007年秋に山頂から南東方向に遠ざかる傾向にある。一点観測なので原因は不明だが、地滑り等のローカルな現象ではないと考えている。

第2図は、「だいち」PALSARデータによる栗駒山地域の干渉SAR解析結果である。第2図の解析では期間は短いですが、地殻変動はないと考えられる。

謝辞

だいち/PALSARデータの所有権は、経済産業省および宇宙航空研究開発機構にあります。またデータは、国土地理院と宇宙航空研究開発機構との共同研究協定に基づいて、提供を受けたものです。この場を借りて、御礼申し上げます。

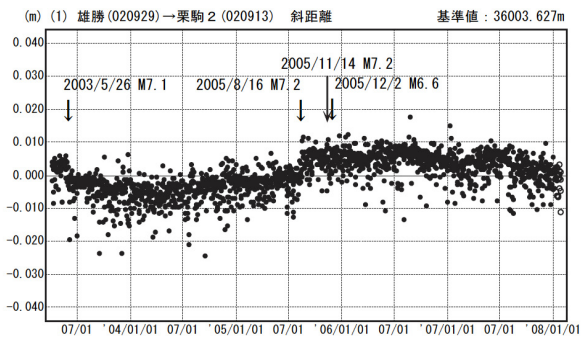
栗駒山周辺 GPS連続観測基線図



国土地理院

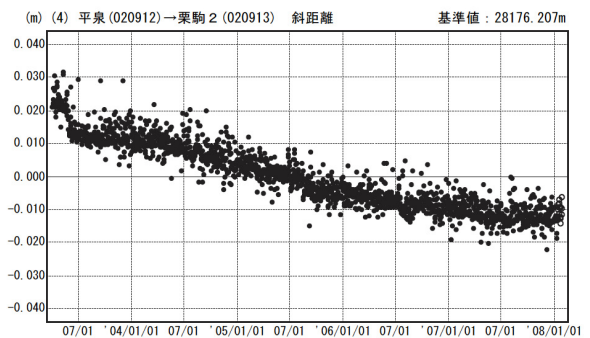
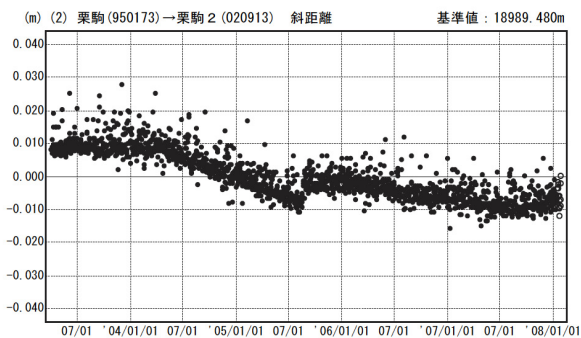
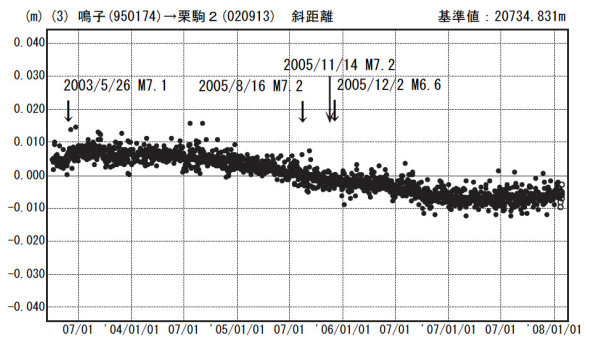
基線変化グラフ

期間：2003/04/01～2008/01/30 JST



基線変化グラフ

期間：2003/04/01～2008/01/30 JST



●---[F2:最終解] ○---[R2:速報解]

国土地理院

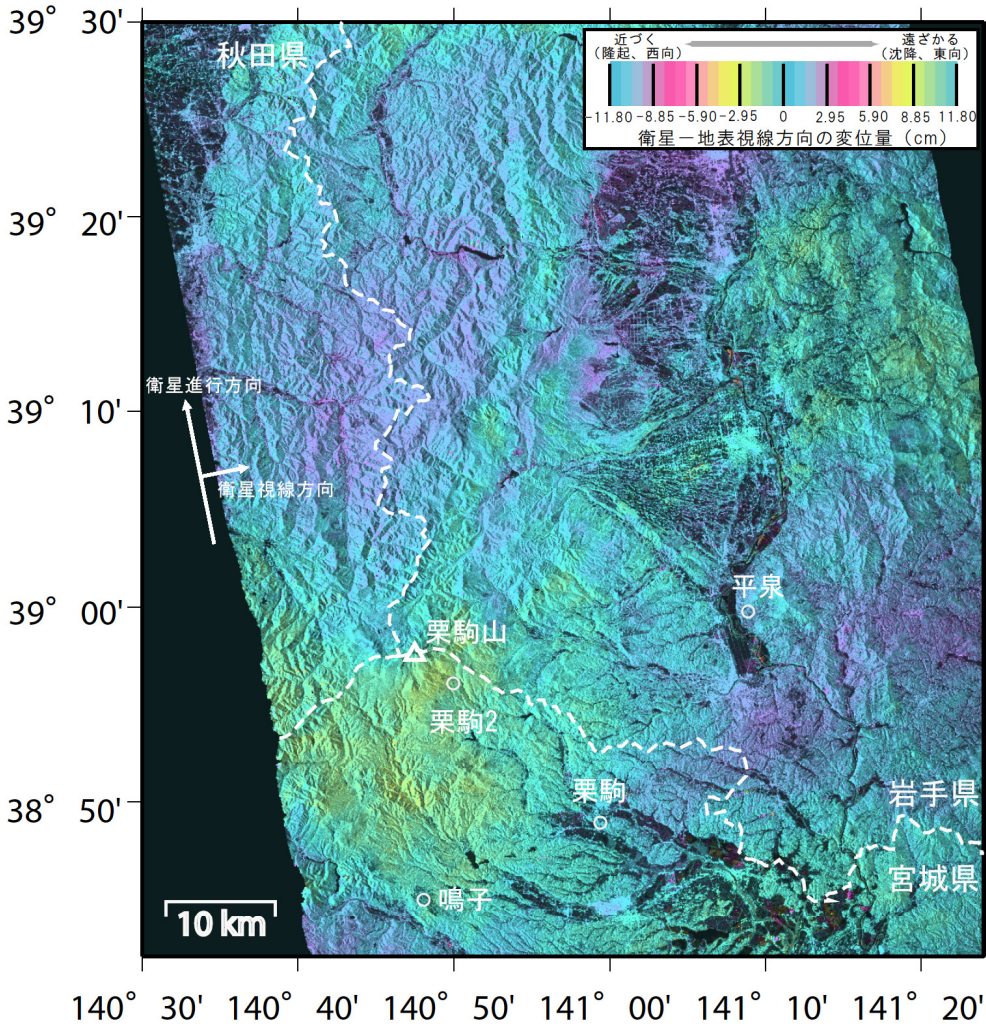
※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 栗駒山周辺のGPS連続観測結果(2003年4月-2008年1月)

Fig.1 Results of continuous GPS observation around Kurikoma Volcanos from April 2003 to January 2008.

「だいち」PALSARによる 栗駒山地域の解析結果について

観測モード : Ascending/FBD 34.3° HH
観測日 : 2007年06月21日~2007年09月21日
基線長 : Bperp = +186m



Analysis by GSI from ALOS raw data (c)METI/JAXA

判読)

大気遅延による影響もあるが、特段の変動はないように見られる。

第2図 「だいち」PALSAR データによる栗駒山地域の干渉 SAR 解析

Fig. 2 Interferometric analysis of SAR acquired by “Daichi” PALSAR around Kurikoma Volcano